


令和6年度 地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	すずき まさゆき	
氏名	鈴木 昌幸	
所属・役職	<ul style="list-style-type: none"> ・岡崎市総合政策部デジタル推進課・戦略係長 ・名古屋市立大学非常勤講師 ・GLOCOM 客員研究員 	
活動拠点	東海 全国どこへでも参ります。 お気軽にお声掛けください。	
略歴	2008年から15年間、計画策定や予算配分など経営企画部局に在籍し、自治体経営と事業担当部局支援に携わっています。 2000年 岡崎市入庁 2000年～2003年 道路維持課 道路用地担当＋道路管理システム 2004年～2007年 保育課 保育園担当＋保育管理システム 2008年～2012年 財政課 財政計画担当＋財務会計システム 2013年 企画課 公共施設担当＋施設保全システム 2014年～2017年 行政経営課 // 2018年～2021年 企画課 総合計画担当＋スマートシティ 2022年～現在 デジタル推進課 スマートシティを含む地域DX 財政計画、公共施設等総合管理計画、総合計画、まち・ひと・しごと創生総合戦略、SDGs未来都市計画、スマートシティ実行計画などの策定とその推進を行ってきました。	
地域情報化の専門分野・技術	主にまちづくりに関連して、データ活用で戦略的に最適化された「課題オリエンテッドの事業構築」から「事業予算をはじめとする経営資源獲得」にむけた各分野 計画策定 : 地域特性分析、課題整理を重点的に 事業予算獲得 : 予算査定対策、議会对策、国支援活用等 公民学連携体制構築 : 事業者タイプに応じた連携 スマートシティ : 地域で持続可能な事業構築ならこれに限らず 気運醸成 : 課題整理、経営資源獲得と相関して EBPM : //	

<p>専門分野</p>	<p>EBPM（エビデンスに基づく政策立案）シェアリングエコノミー 計画策定支援（地域情報化計画・官民データ計画・自治体DX推進計画等） 人材（DX推進のための機運の醸成） デジタルデバイド対策 防災 働き方地域ビジネス スタートアップ支援（起業支援） 観光 スマートシティ</p>
<p>自治体向けメッセージ</p>	<p>自治体職員の尽きない悩み、ご希望の距離感で戦略的出口まで一緒します。お気軽にご連絡ください。</p> <p>情報化を進めたいけど、実は別次元でつまづくことが多いと感じていませんか。私は事業実施のプロフェッショナルではありませんが、経営資源配分などで現場支援を多く経験してきました。経営企画部局と事業担当部局、両者の舞台裏をよく知る観点からお役に立てることがあるかもしれません。</p> <p>デジタル技術やデータは“活用しなければ”と切迫して取り組むことも大切です。しかし、その一方で“活用した方が有効な場合に積極活用する”といったモチベーションの方が、結果的に地域情報化への近道ではないかと感じることもあります。</p>
<p>関連サイト</p>	<p>令和5年度第2回4府省合同スマートシティ官民連携PFオンラインセミナー</p> <p>https://www.youtube.com/watch?v=GC8F8Ck-qWE</p> <p>SSPP Forum #02 「“地域を主役としたサステナブルで Well-being な”まちづくり 2023」</p> <p>https://www.youtube.com/watch?v=EMyvZ2XTD2w&t=18302s</p>
<p>地域情報化に関する実績</p>	<p>R5 年度活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講義 名古屋市立大学「データサイエンスへの誘い（前期・後期）」 ・ 寄稿 国土計画協会 人と国土「都市再生課題とデータ活用」 ・ パネリスト 日本PFI・PPP協会「DX・スマートシティセミナー」 ・ 講演 スマートシティインスティテュート「脱炭素WEBサロン」 ・ 講師 中部地方整備局「若手スキルアップ研修（スマートシティ）」 ・ 講演・パネリスト 「4府省合同官民連携PFオンラインセミナー」→上記関連サイト ・ 講演・パネリスト 地理情報システム学会「企画セッション（人流データ）」 ・ 講演 NTT「Sustainable Smartcity Partner Program」→上記関連サイト ・ 講演 総務省「都市OSセミナー」 ・ 委員 国交省「スマートサービスによる Well-being の改善方策検討WG ・ 講師 東海財務局・岡崎市「合同研修会」 <p>ほか庁内研修など</p> <p>これまでに 関わった地域情報化に関するプロジェクト</p> <p>課題解決の出口として組成された各プロジェクトで、実装または実装に向けた段階的挑戦過程にあるもの。事業予算獲得の例示でもあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 都市OS構築（総務省） ・ 人流データ活用で花火大会警備計画の高度化（公民連携） ・ リアルタイム混雑情報でコロナ密の予防・緩和（国交省都市局） ・ リアルタイム駐車場満空情報発信（国交省都市局） ・ 脱炭素×スマートモビリティ（国交省都市局）

	<ul style="list-style-type: none">・大河ドラマ館観光需要推計（国交省総合政策局）・リアルタイムデータ活用で工事不便の緩和（国交省都市局）・データ活用でサイクルシェア事業自走化（国交省不動産・建設経済局）・イベント人流効果の地域商業波及分析（国交省都市局）・プロジェクションマッピング文化資源保存活用（文化庁） ほか
--	--